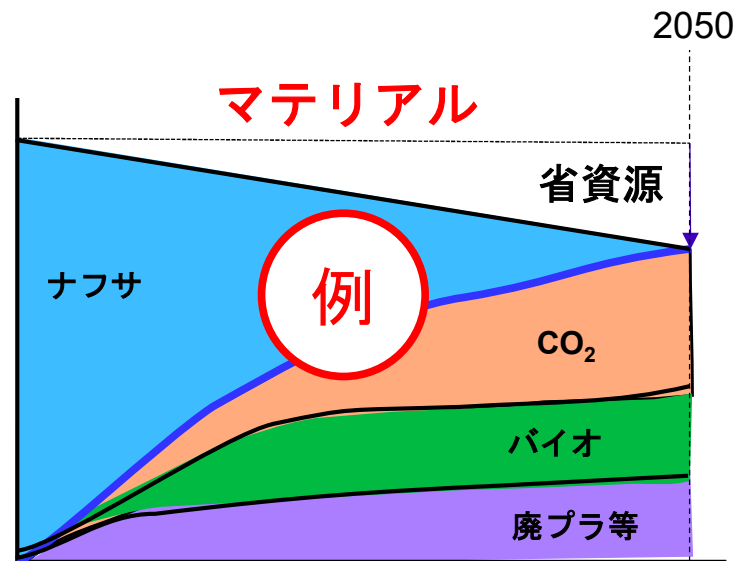
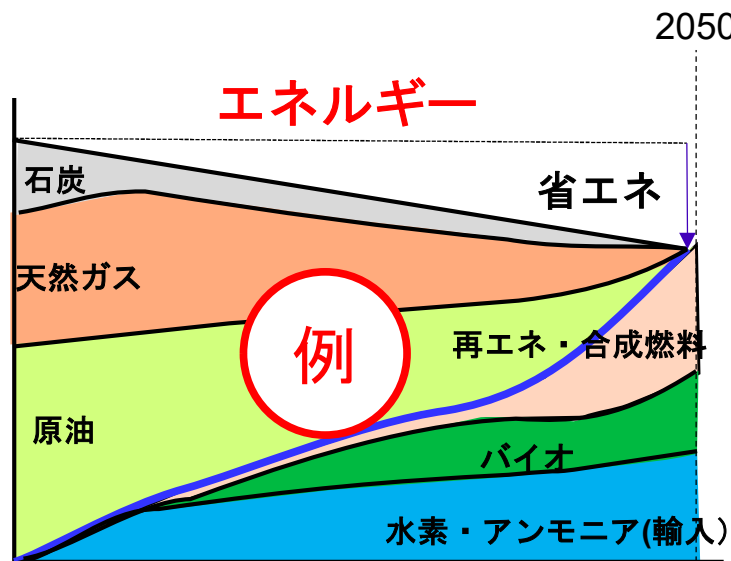


京葉臨海コンビナートにおけるカーボンニュートラルグランドデザインについて

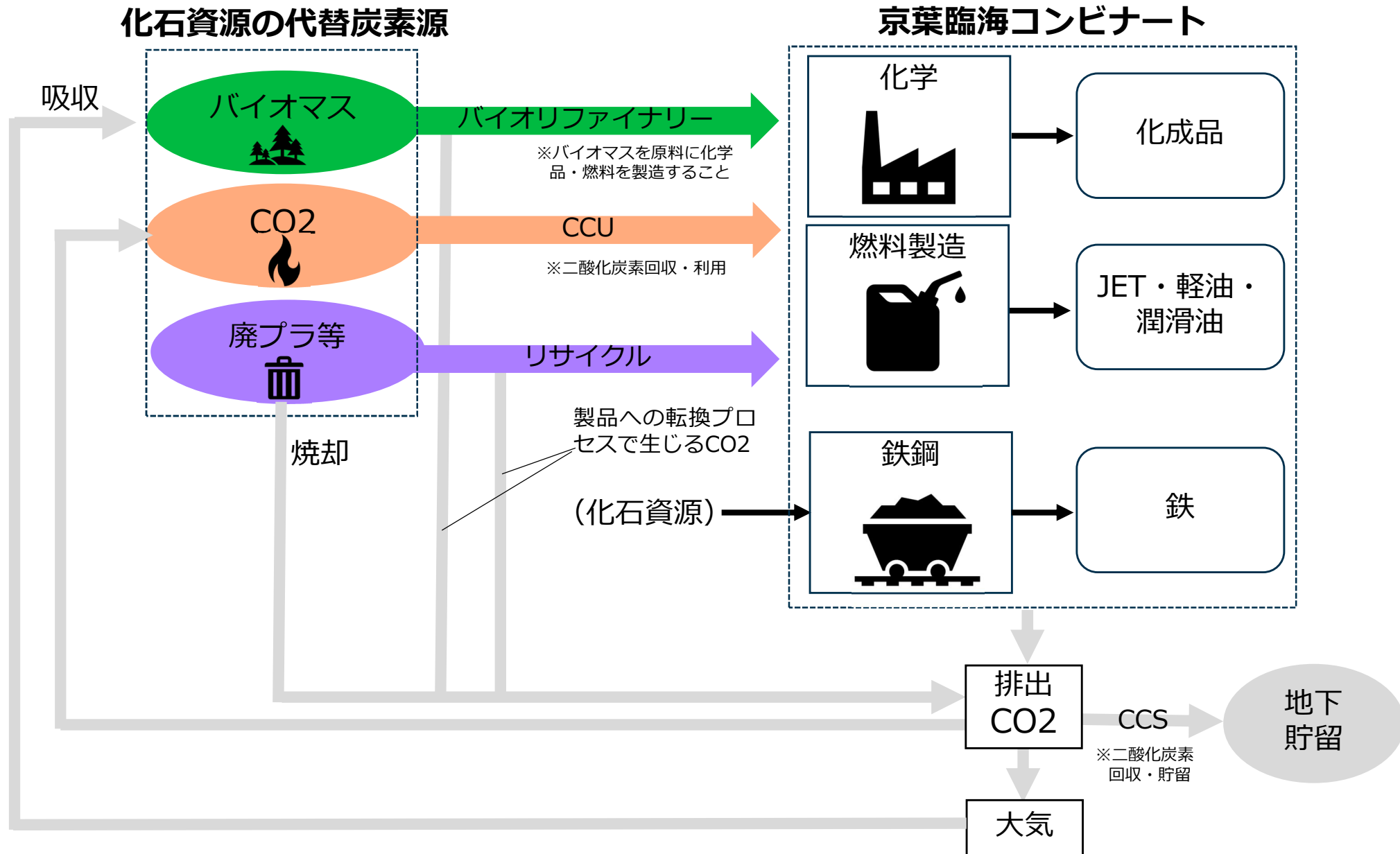
- 京葉臨海コンビナートでは、カーボンニュートラルの実現に向けて、
 - ・ エネルギー分野では、非化石資源の使用
 - ・ マテリアル分野では、化石資源を代替する炭素源として、
廃棄物(廃プラスチック等)、バイオマス、排CO₂の活用 を基本に取組を進めていきます。
- これらのうち、マテリアル分野については、目指すべき姿として別紙1-2のとおり、炭素循環フロー図(イメージ)を整理しました。

京葉臨海コンビナートにおけるカーボンニュートラルのイメージ

※ 下図はイメージであり、京葉臨海コンビナートの将来を予断するものではない。



マテリアル分野の炭素循環フロー図(イメージ)



出展：公益社団法人化学工学会「カーボンインディペンデンス（炭素自立）ビジョン」（https://www.cn.scej.org/activity/grand_design_working/）に基づき千葉県が作成